

※は必須項目

	※代表製作者	共同製作者1	共同製作者2
※氏名	高橋由貴子		
※品目名	江戸木版画		
※会社名	株式会社高橋工房		
ホームページ アドレス	takahashi-kobo.com		

製作方針

※1. 主力・代表商品

主力商品	江戸木版画
主な材質	紙、絵の具、(版木)

※2. 活かしたい技術(今回開発する商品にも使いたい技術)

(特に得意な加工や自信のあるところ、自分の商品ならではの特徴等、200字以内)

江戸木版画は「絵師」「彫師」「摺師」とそこを束ねるプロデューサーの役割をする「版元」が力を合わせ作品を作り上げます。高橋工房は江戸時代より続く摺師の家系で、現在では版元の仕事も担っており、これまでに浮世絵の復刻以外にも様々なジャンルの作家や外部のデザイナー様、企業様と組み、多種多様な作品や商品を生み出してきました。  
「摺り」には様々な技術がありますので、そういった江戸時代から継承する技術を盛り込んだり、また絵という平面の作品から立体の作品や商品に仕立て、美術作品としてだけでなく普段の生活でもお使いいただけるような製品を一緒に考え、制作できたらと思います。

※3. チャレンジしたい商品

(1)、(2)のどちらかに「○」をし、(1)を選んだ方は可能な範囲で具体的な内容を記入(200字以内)

- (1) 取り組みたいアイデアがある
- (2) デザイナーから提案してほしい
- (具体的な内容)

既存の絵(版木)を利用し、摺り、何か製品を作り上げる

インテリアとして使えるもの(額装、扇子)

江戸木版画の特長を活かしたもの



商品画像は枠内に納まるように貼付してください。難しいようであれば事務局で対応いたします。  
商品画像は1人でもチームでも最大3点まで。別紙資料等の添付は不可です。

	商品画像	コメント (100字以内)
商品1 ※主力・代表商品	<p>商品名： 縞のうつわ</p>  <p>画像は東京手仕事のHPより転載させていただいております</p>	<p>温もりのある紙の器は、すべて「縞」がモチーフ。針のように細い線が交差する「雨」。幾筋もの縞が描かれた「千筋」。よろよろと味のある線の「よろけ縞」。二つの線がふくらんだり、くっついったりする動きが面白い「立涌」。太い縞が並行する「罍縞」。江戸の市井の人々の多くは、縞の着物を着ていて、縞は粋の象徴でした。器を手にとって裏返すと紙の表面にはハレンが写しとった版木の凹凸を感じることが出来ます。お懐紙代わりに干菓子を乗せたり、外したアクセサリーの置き場所に…などアイデア次第で自由にお使いいただけます。</p>
商品2	<p>商品名：江戸木版画 歌川広重「名所江戸百景」などの浮世絵</p> 	<p>現在江戸木版画の技術を持っている職人たちの高齢化がますます進んでいるなかで、復刻作業という具体的な仕事を通して、次世代に技術を継承していこうと企画された事業によりよみがえった作品です。 モネやゴッホをはじめ、ヨーロッパ近代の画家達に多大な影響を与えたこの名所江戸百景には、江戸木版画の様々な技術が盛り込まれた作品であり、見る者の心を捉えます。</p>
商品3	<p>商品名： 摺り立て順序フリップブック「日本橋」、「庄野」</p> 	<p>平成29年開催の伝統的工芸品月間国民会議全国大会 東京大会において、クリエイターとのコラボでリバースプロジェクト様と作り上げました。 木版画の制作過程を手軽に楽しんでいただける「摺り立て順序フリップブック」。歌川広重の「東海道五十三次」より「日本橋」と「庄野」を、それぞれ主版摺りから完成摺りまで15ページに渡って色が摺り重なり、絵が完成するまでを楽しむことができ、パラパラ漫画のような面白さもあります。</p>